

通し番号	中学校区	No.	大項目	小項目	分類	未回答	質問内容	回答
127	北中学校区	1	説明会	運営			そもそもこの時間にやるのは誰のため？小さい子を持つ親（特に母親）は参加できない時間。将来を担う子供達を今育てている人達に知ってもらう必要があるのでは？	必要に応じて、その都度説明会等を開催していきたいと思ひますし、説明会の他にも先程申し上げましたような市のホームページでのアンケート等を実施しております。電話やメール等でも結構でございますので、意見をお寄せいただければと思ひます。 また、個別の事業の際にも皆様から一つ一つご意見をいただくということになりますので、宜しくお願いいたします。
128	北中学校区	2	再配置の方向性	小中学校の再編			30人学級から25人学級にして教師の負担を削減して児童・生徒に向き合える状態ができることが必要ではないか。	これは教育の指導のこともご心配いただいているかと思うのですが、基本的には国の学校教育法施行規則や県条例等で以前は40人学級、それだとも多いということで静岡県は35人学級ということで実施しております。1学級の人数の上限が決まっている中でクラス分けが行われております。ご質問いただいた少ない人数で先生1人あたりが見る子供の数が少ない方が指導が行き渡るといふことで、数の論理で言えば当然そうだと思います。ただ、枠組みが決まれている中で、やれることとしては市が単独で予算を付けてということになるかと思ひます。今現在、予算があっても教員を確保することが非常に難しい状況であることを皆様にお伝えしたいと思ひます。これも大きな課題でございます。色々な業種の中で、人手不足が言われておりますが、教員も働き方改革のことを言われてから、学校の先生方はブラックだといふことをマスコミ等で言われていて、教員のなり手も非常に不足しております。このままでは、国や県の方も配置のところで困るわけで、何とかニーズを確保するとなると、教員の質を下げていく方法しかないわけです。でも、教員の質を下げると神戸で起きたような、あってはならないような事件がございましたけれども、やはり子供にとって絶対プラスになるはずはありませんので、そうならないギリギリの線で教員を採用しつつ、その学校の定数といふのがございますけれども、子供の数に合わせて、教員の数を配置できる教員の数が決まっておりますので、そのギリギリのところを教員を充てているという状況です。そこを1クラスの子供の数を少なくして、クラス分けをしてクラスの数を大きくして教員を充てたいのですが、先程言ったように教員がほとんど居なくて、現在欠員が出ているところもあったのが、やっとこの前解消したところで場合によっては70歳過ぎの方に教壇に立っていただいております。そういう現状です。ですから予算があっても人がなかなか付けられないといふような状況をご理解いただきたいです。それと一定の集団規模の中で教育をこれからやっていくといふ中で、小中一貫教育を進める中で、これから子供達がどういふ世の中になっていくかといふと、皆様方もわかるようにすごい情報量があつて、時代の流れが非常に早く変わっていきます。この先、もっと早く世の中の状況が変わっていくと思ひます。そこで生きていくといふことに対して、やはりある程度今まで以上に生きる力と言ってきましたけれど、もっと強く生きる力が必要になってくると思ひます。そうなると、ある程度の子供数の中で切磋琢磨するよふな教育環境といふのは、どうしても必要になってきます。小中一貫教育を進める中でも、やっぱりそれが必要だといふ考えで教育委員会としては検討しておりますので、ある程度の集団規模、それは必ず取っていききたいと思っております。当然、先程言った教員が配置できる範囲の中でといふことで考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。
129	北中学校区	3	再配置の方向性	小中学校の再編	検討の進め方		学校教育施設について再編計画がまだ出されていないにもかかわらず、個別情報を出して削減の対象としている。掛川市では小中一貫教育推進といふことで統廃合を進めているが問題が多いと思ふ。城北小と北中学校の統合・複合化は、再編後の中学校の枠組みの中で検討しているが、どのよふになるのか。	先程言った再編のこともそうですが、全体を見て小中学校のいわゆる連携といふ時には、なるべく施設が近いところまたは一体型の施設が望ましいといふことは考えています。個別にどういふ枠組みで、今後小中一貫教育を進めるにふさわしい学校施設にしていくかといふことについては、再編の計画と併せて検討をしているところでございます。 それから、その計画については、今現在、新たな学園づくり研究会といふのを立ち上げまして、教育委員会だけではなくて商業の関係する部署プラス大学の有識者の方にも入っていただいて色々な視点から今検討をしております。来年度中には、先程の公共施設の再配置計画については、10月といふことが出ましたができる限り教育委員会の方の学校再編計画につきましても、それに合わせて出せるよふに進めております。その時には、事前に市民の皆様にもご意見が聞けたらと思ひます。そのゆとりがどこまであるかといふことになろうかと思ひますが、そういう方向で情報発信しながら案を詰めていききたいといふことで、進めておりますのでご理解いただきたいと思ひます。

130	北中学校区	4	再配置の方向性	小中学校の再編	具体的	<p>西郷小学校と倉真小学校が統合を検討すると言 うが、西郷小学校に統合するのか。複合化とは どういうことか。</p>	<p>倉真小と西郷小が統合するということについては、まだ決まっているわけではないですし、今 も検討しております。隣の学校と必ずしも統合させるという単純な考え方はしていません。 もっと広範囲にどのように考えるかということだと思います。私は、三笠中学校の出身で北中の 第1期生です。当時、東中学区からそれから西中学区から城北それから、水垂、初馬、そういう ところから集まって北中ができております。その時、学区のいわゆる再編が一部行われたわけです が、全体を見てどういうふうの子供の数も変動するか地区ごと細かく見ております。ですから、 単純に倉真小学校と西郷小学校を統合するのかということですが、それはまだ決まっておられ ませんし、流れの中で地域に近いからということになるという可能性もゼロではございません。そこ についても、現在検討をしているという状況です。</p> <p>それから複合化ということで先程もご質問いただきましたが、基本的に学童施設については、 なるべく学校施設と一体にしていきたいということは教育委員会としても考えております。た だ、その他の公共施設の統合に関しましては、先程言いましたようにどのような公共施設が必要 なのかということで、教育委員会の方でも検討していくと思いますので、今現在はそのような状 況でございます。</p>
131	北中学校区	5	再配置の方向性	小中学校の再編	検討の進め方	<p>小中の統合・複合化について、具体的な方向、 時系列で説明が必要。</p>	<p>小中学校は市内31校ございます。小学校が22校、中学校が9校ございます。全ての小中学校について、今 現在、教育委員会で再編の検討をしております。現在進行形で進めております。その中で統合というご質問 ですけれども、市内の22校の小学校のうち、今現在、半分の11校がいわゆる小規模校で1学年に1クラスし かない学校です。小学校6学年ですので6クラスしかないという学校が22校中11校ございます。今の0歳児 が小学校入る令和7年度、その時には13校になる見込みであります。半分以上が小規模校というところで、 今現在、国が求めている教育方針からすると、適正規模・適正配置の考えからすると非常に苦しい状況とい うことになります。従いまして、今後再編の中で統合していく方向で検討をしております。複合化について は、先程、亀山市や松阪市の例が出ましたが、これについては市内のそれぞれの地域ニーズや特性もござい ますので、地域の皆様の要望を聞きながら、進めていくということになると思います。具体的な方向としま しては、一番の柱の施設ができるのがこれでいくと20年30年40年という長いスパンの中で作られていくわ けですが、子供はどんどん成長していきます。今の0歳児が50年後でも50歳になりますので、状況がガラッ と変わっているかと思えます。先程10年後ごとに色々見直しを図るということで説明がありましたけれど も、教育についてはもう子供の成長は待たなしますので、今現在、一番最適だと考えられる方向で教育の 中身についても進めております。それが何かというと、小中一貫教育でございます。これについては、平成 25年度から中学校区学園化構想がスタートしておりますけれども、もうその当時から小中一貫教育について は、もう検討を始めておりまして掛川市はもう既に30年以上前から保幼小中連携教育はずっとやってきまし て基礎ができてございます。それを基に、今後は連携から一貫という教育へ展開をしていきたいと思いま す。そのためには、ある程度子供の数が揃った学校教育施設を再編の中で造っていかないとはいけません 。方向としては、このように考えておりまして、時間的なものについては、先程出た資料3、大枠とし てはその中で担っておりますけれども、今現在、小中一貫教育研究を指定している原野谷学園または城東学 園、赤枠で囲まれているところが10年ということになりますので、早いところでその10年以内に小中一貫校 ができればという方向で進めております。</p>
132	北中学校区	6	再配置の方向性	個別施設	地域生涯学習セ ンター等	<p>原泉のセンターはどの程度まで使用できるか。 あと10年で使用できなくなるということす か。さくら咲く学校も20年で使用できなくな った後は、どうするのですか。</p>	<p>原泉センターとさくら咲く学校につきましては、安全に利用できるまで、あるいは利用できな くなるまでは活動をしていきたいと考えております。機能については、小中再編後の枠組みの中 で検討していきたいと思っております。また、原泉地区の皆様とよく協議をしながら検討してい きたいと考えております。</p>

133	北中学校区	7	再配置の方向性	個別施設	地域生涯学習センター等		Ⅰ期統合のさくら咲く学校と原泉センターの場合、木造の原泉センターは補強改築するのか解体をするのか。原泉センターはなるべく残してほしい。	
134	北中学校区	8	再配置の方向性	その他			スライドP 8、公共施設の適正配置とあるが、なにをもって「適正」と判断するのか。各施設種別ごとに再配置基準を設けているならば説明願いたい。	資料4をご覧くださいと思います。資料4の右側、黄色く塗ってある施設、こちらが全市的に配置を検討していく施設。そして、緑色で塗ってある施設、これは各地域ごとに設置が必要である施設ということです。最後に赤い施設ですが、公民連携民間でもできる可能性があるということで公民連携を拡大することで、サービス水準の向上を検討する施設とこのように三つに分けて検討をさせていただきます。
135	北中学校区	9	再配置の方向性	官民連携の推進			譲渡があるが、市民にとって不都合（デメリット）はないか。	ご説明をさせていただいた中にもありましたが、公民連携を拡大することで、サービス水準の向上を検討してまいります。地域の皆様とご相談、検討しながら個別に慎重に検討していきたいと考えております。
136	北中学校区	10	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	機能		今まであった施設の廃止はとても思い切ったことだと思う。どこかにしわよせがこないかと心配する。代替施設案などはあるのか。	ご利用いただいている皆様にとりまして、これは大切な点であると思います。機能につきましては、別の場所や形で提供できないかと、そのようなことを含め検討していきたいと考えております。いずれにしましても、個々の施設ごとに事業化を検討する段階においては、関係者の皆様としっかり協議をしていきたいと考えております。その際にも、ぜひご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
137	北中学校区	11	説明会	説明内容		事例	再配置の例で、亀山市人口？学区内の人口？	亀山市の人口は約5万人でございます。小学校が11校、中学校が3校、学区内の人口と人口密度のデータは持ち合わせてないのですが、市全体の面積として191平方キロメートルですので、亀山市の人口密度は平方キロメートル当たり259.6人ということでございます。
138	北中学校区	12	説明会	説明内容		事例	学校と地域活用事例、課題はないのでしょうか。大学の構内のようにできるのか。	本日もご紹介いたしました事例では、利用者等の関係者でよく協議をして利用方法や役割分担等をしっかり決めていたとお聞きしております。安全管理については、基本的には学校が受け持っているということで、そちらの事例ではそうしているということ聞いております。
139	北中学校区	13	再配置の方向性	その他			そもそも学区に縛られた構想はなんですか。	地域づくりの観点も含め公共施設の再配置を検討するため、現在、掛川市では都市計画において、地域づくりの単位として中学校区をひと単位としております。それを中学校区ということをもとに今回中学校区という形でご提案を申し上げている次第であります。ご理解の程よろしくお願いいたします。
140	北中学校区	14	再配置の方向性	縮充			再配置方針の中で市は、施設の量は「縮減」、統廃合や複合化などでサービスの質的向上で「充実」ということですが、結果は質の低下につながるのではないかと心配される。	そういうご心配もあろうかと思っておりますので、それについては丁寧にご意見を聞かせていただきながら、地域の拠点施設になるような機能、それから大きさ等、また地元の皆様と協議をさせていただきたいと思っております。今よりも地域に賑わいや交流を生み出せるようなものを作っていきたいと考えております。

141	北中学校区	15	再配置の方向性	個別施設	文化施設	文化ホール、スポーツ施設の統合は必要ない。各々その地域毎にあるべきでは？	そういったご意見もあるとは思いますが、これにつきましては、ある程度集約化するというこ とで、それぞれの地区・地域では持てなかった大きいホールや運動場が持てるのではないかと 思っております。そのような機能の充実というようなことを「縮充」しようということで、 本日まで説明を申し上げておりますので、ご理解をいただければと思います。
142	北中学校区	16	再配置の方向性	個別施設	ふくし館	福祉館などⅡ、Ⅲ期をもつての廃止とあるが、 それまでに代わる地域活動の拠点はどのような ものを提供できるのか。	小中学校を拠点として、地域コミュニティー施設や学童保育所等を複合化して、新たな施設に 地域活動の拠点を整備してまいりたいと考えております。先程、説明者から2件の事例をご紹介 申し上げましたけれども、学校が地域づくりの拠点になったり、地域活動の拠点になったりとい うような複合化のイメージを持っております。
143	北中学校区	17	検討の進め方	市民意見	合意形成	地区ごとの個性、特徴をどう再編計画に反映さ せるか。ガイドラインを示す必要がある。検討 委員会など全市的に組織して地区連携を図る仕 組みが必要。	地域によって実情が異なると思っております。ですので、実際の再配置計画を事業化していく際 には、個別案件ごとに地域や利用者の皆様、関係の皆様等と丁寧に協議・確認をしながら、具体 的な検討を進めていきたいと考えております。
144	北中学校区	18	再配置の方向性	その他		今後、新設工事は単独ではないのか。	市民ニーズの変化に合わせて必要な施設サービスは提供できるようにしてまいります。 ただ、その際に複合化等の既存の施設の有効利用を検討しつつ、慎重に進めていきたいと考 えております。
145	北中学校区	19	再配置の方向性	目標設定	根拠	再配置方針の中で、公共建築物延床面積25%縮 減。更新費など維持管理費を削減するという が、①縮減解体費、②地域ごとに複合化のため の施設づくりには、巨額の経費がかかるもの と思われるがいかがか。	再配置計画につきましては、基本的には耐用年数が到来した時に施設の複合化等を進めていく 計画としております。この50年間で、今ある施設（建築物）でございますが、次に再整備をする 費用が今現在のところ2034億円という試算をしております。このため、不足する財務を生み出す ために25%の面積を減らしていきたいという計画を立てているところであります。 継続の経費がかかるというご指摘でありますけれども、これにつきましては、施設面積の縮減 等の方法、あるいは色々な経常経費の削減、あるいは国や県の補助金等、あらゆる財源の確保と いうことも想定しながら経費の確保や財源の確保に努めていきたいと考えております。
146	北中学校区	20	再配置の方向性	計画の見直し		検討時期がⅠ期～Ⅴ期となっているが（最長今 後50年）、計画策定後の見直し、モニタリン グはどう行っていくのか。長い期間の中で社会状 況の変化に対応する方法は？	当然、色々な社会経済情勢やあるいは市民ニーズ、それから利用状況等の変化が大変多いかと 思います。この計画につきましては、10年ごとに見直しをしていく予定でございます。

147	北中学校区	21	再配置の方向性	個別施設	幼稚園		三笠幼稚園は譲渡を含めて検討となっているが、築9年の立派な建物であり、数少ない市立幼稚園である。民間譲渡して儲けの対象にするなど、公共の役割、公の責任を放棄しているのではないか。	<p>子供達を取り巻く状況でございますが、ご存知のとおり子供の人口は年々減少しております。また、幼稚園のニーズは減少しております。一方、保育園のニーズは年々増加しており、待機児童の問題が色々新聞等でも取りざたされている状況でございます。そういった状況の中で、三笠幼稚園につきましても、定員が160人のところ現在130人という状況でございます。今後も、今言った状況を考えて、園児数が減少していくかと考えております。そういった中で、今後どうしていったら良いのかということについては、認定こども園化をする等、民間への譲渡も含めてということでご理解いただきたいと思っております。</p> <p>また、民営化した幼保園、要するに公立幼稚園と私立の保育園等が再編された幼保園も今まであるのですが、そういった園につきましても園の教育、保育の方針等の園の状況は、子ども教育委員会・子ども希望部と一緒にそれぞれの園に訪問させていただいて、消防に状況確認をする等、市と民間の方が連携してより良い環境になるように取り組んでおりますので、ご理解いただければと思っております。</p>
148	北中学校区	22	再配置の方向性	個別施設	学童		倉真パンダひろばは譲渡を検討というが、どんなふうになるのか。倉真パンダひろばは学童保育施設として有効な施設と思うが、解体譲渡で財産処分していいのか。公共の役割縮小、公の責任を放棄しているのではないか。	あくまでパンダ広場の機能としては、維持していくことを現時点では考えておりますので、譲渡ということがイコール機能を無くすということではありませんので、誤解のないようにご理解をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。
149	北中学校区	23	再配置の方向性	その他			運営は外部への委託も多いのでは、今後も継続の方向でしょうか。施設管理の長に、市定年者の方も多いと聞きます。	民間事業者のノウハウを活かすために指定管理者制度を導入しております。今後、より一層民間のノウハウを活かしていくためにも、公民連携の拡大を図りながらサービスの質的向上に努めてまいりたいと考えております。
150	北中学校区	24	説明会	説明内容		事例	再配置事例の紹介において三重県は県の指導で行われているのか、市独自にとりくんでいるのですか。静岡県はどうなっていますか。	市が単独で行っている事業と聞いております。
151	北中学校区	25	再配置の方向性	交通手段			統合された場合、施設まで運行するバス等の計画はありますか。	これにつきましては、先程申し上げましたとおり色々なスクールバスの活用等に努めてまいりたいと思っております。
152	北中学校区	26	検討の進め方	市民意見	合意形成		「情報共有および市民ニーズの把握」の具体的なやり方は？「まちづくり協議会」等、地域の方針に沿って進められる方法を考えてみてはどうか。	<p>説明会の他にも市のホームページ、あるいは電話、FAXメール等で、多くの皆様のご意見をいただければと思っております。また現在、市のホームページ上にWebアンケートを掲載しております。ぜひご回答いただければと思っております。</p> <p>それぞれの各施設の事業化の段階につきましては、実際の再配置を事業化する際に、個別案件ごとに地域や利用者の皆様等と協議しながら、具体的な検討を進めてまいりたいと考えております。皆様のご意見については、丁寧に対応させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>

153	北中学校区	27	検討の進め方	市民意見	合意形成		10月の広報には「市民のニーズ把握、情報の共有のための地区説明会開催」とあります。計画を推進、具体化するための策定は地域の説明会や市民アンケート調査などを通じて、ニーズ把握に努めるとあります。地区説明会は今回限りなのか、市民アンケート調査をやるのですか。
154	北中学校区	28	検討の進め方	市民意見	合意形成		<p>特定の公共施設で市民が納得できないときはどうするのか。「計画ありき」ではないか。地域や市民との合意が前提ではないか。時間を取り、地域や市民との合意形態が必要です。</p> <p>地区の説明会等につきましては、必要の都度また開催をさせていただきたいと考えておりますし、地域の皆様、それから利用者の皆様、多くの世代の皆様にご意見を多数聞かせさせていただきたいと思っております。</p> <p>それについては、市の方に直接お寄せいただいたり、電話でもメールでも結構ですし、今のホームページでご意見を記入できるようなページを作っておりますので、インターネット環境のある皆様につきましては、そういった中でご意見をお寄せいただければと考えております。また事業化の段階には、個別の施設を検討する際には、より一層綿密な説明が必要になってくると思っていますので、そういう点については配慮していきたいと考えております。</p>
155	北中学校区	29	再配置の方向性	個別施設	地域生涯学習センター等		<p>西郷センターと倉真センターの統合は、一方の施設に統合するのか。または新しくセンターを新設するのか。統廃合で施設サービスの質的向上が図られるというのが住民の利便性が損なわれるのではないか。</p> <p>あくまで現時点でございますが、地域生涯学習センター等のまちづくり協議会の活動拠点につきましては、再編後の小中学校への複合化を考えております。場合によっては、一つの学校に複数のセンターを統合する可能性もあります。現在の位置よりも地域から遠くなるかもしれませんが、複数の地区で共同事業をすることで地区ごとでは持てなかった大きい部屋を整備できたり、今よりも使いやすい施設にできるのではないかと考えております。</p>
156	北中学校区	30	再配置の方向性	小中学校の再編	地域との関係		<p>複合化（小中学校の）が多く考えられているが、学校がなくなると地区は寂しくなるのではないか。</p> <p>地域が衰退しないようにご相談させていただきたいと思っております。施設については、面積が減ったり、少し距離が離れたり、色々なことが出てくるかもしれませんが、地域ごとに施設を集約し、これまでの施設では成し得なかった多目的な利用とか複合化を地域の皆様の賑わいという視点で整備していきたいと考えております。</p> <p>少子高齢化の進展や社会経済状況の変化により、既存の公共施設では対応し切れていない市民ニーズが今後増加することも予想されます。今回の再配置については、それらの新しい市民ニーズに対応した新たな公共施設サービスを構築する機会であると考えています。現時点では、地域学習センター等のまちづくり協議会の活動拠点は、再編後の小・中学校への複合化を考えています。場合によっては、1つの学校に複数のセンターを統合する可能性もあります。</p>
157	北中学校区	31	再配置の方向性	小中学校の再編	地域との関係		<p>小学校を複合化するということは、遠方に通うことになるということになると思うが、地元への愛着、地域の人とのふれあいが薄れることが懸念される。行末は地元離れ、過疎化地域はより一層、過疎化が進むのではないか。</p> <p>現在の位置よりも地域から遠くなるかもしれませんが、複数の地区で共同利用することで、1地区ごとでは持てなかった大きい部屋を整備できたりする等、今よりも更に使いやすい施設にできると考えています。個々の統合・複合化については、地区ごとの事情を考慮しつつ各地域の皆様と協議しながら慎重に検討していきたいと思っております。</p>

158	北中学校区	32	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと		<p>いろいろな施設がバラバラにあるのは確かに財政的に厳しいと思うが。なくなる地域にとってはますますさびれる。（大東地区、横須賀地区のようにコンパクトシティとしてまとまるのは必ずしも良いとは思わない。</p>	<p>先程お答えを申し上げましたが、小学校の複合化ということですが、施設自体は減ったり、遠くなったりするということがあるかもしれませんが、地域ごとに施設を集約し、地域拠点とすることで、今よりも地域に賑わいや交流を見出しまちづくりの核とすることを目指していきたいと考えております。</p> <p>それから移動手段の関係でございます。先程のスクールバスの関係で少し申し上げましたけれども、それについては、色々な昼間のスクールバスの活用ですとかあるいは他の交通手段等を含めて色々手段を確保していきたいと考えております。まちづくりの拠点をどうするかということは大変重要な観点でありますので、ここの再編統合等につきましては、その点も踏まえて検討をしていきたいと考えております。</p>
159	北中学校区	33	再配置の方向性	個別施設	学童	<p>学童保育の統廃合が出ていますが、学童保育所に預ける人が増えています。なぜ統廃合がでくるのですか。拡充することが必要ではありませんか。指導員の待遇改善をすべきではないか。</p>	<p>学童保育所については当然ですが、児童の安全の面から小学校内に配置することが望ましいのではないかと考えております。</p> <p>需要につきましては、ご指摘のとおり年々変わってきておりますので、学校の再編時には小学校との複合化を検討し、適正な規模を確保したいと考えております。</p>
160	北中学校区	34	説明会	参加者		<p>この会の対象は区内役員様だったのか。女性の姿が3人しか見えないが、私も何の役員ではないが。再編によりどのような新掛川市が生まれてくるのか、興味があるので拝聴したかったのですが…</p>	<p>これについて多くの市民の皆様へ説明会の方にお出かけをいただければと思っております。また、多くの世代の皆様にもご意見をいただきたいと思っておりますので、今日の説明会の他にもインターネット上で色々なアンケート等を行っております。色々なご意見・メール等でも結構でございますので、掛川市の方にお寄せいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
161	北中学校区	35	再配置の方向性	個別施設	文化施設	<p>文化ホールの統合については、文化に触れる場を多くすること、距離的に考えれば掛川市で1カ所では無理ではないか。大ホールは2カ所は必要です。</p>	<p>現時点につきましては、このホールについて、どのように配置をするかということはまだ決定しておりません。市内の地理的なことと、近隣市町の施設との関係等を考慮しながら、第4期になります30年後から40年後の間に検討してまいりたいと考えております。その際には、その時点の利用状況や市民の皆様の生活圏等を再度確認してということになると思います。</p>
162	北中学校区	36	再配置の方向性	個別施設	幼稚園	<p>すこやか幼保園をそのままにされる意味を教えてください。後からできた三笠幼稚園、さかがわ幼稚園を譲渡方針との差異。何か意味があるのでしょうか。</p>	<p>すこやかは認定こども園ということで、0歳から5歳までの子供達をお預かりしております。子供達の状況でございますが、医療的ケア等の支援を要する子供達が非常に増えております。そういった子供達を受け入れる施設が公立として必要であると考えております。三笠幼稚園やさかがわ幼稚園は幼稚園なので、0歳から2歳までの子供達に対応するような施設整備になっておりません。すこやかについては0歳から2歳までも対応しておりますので、そういった意味ではすこやか最良であると考えております。</p>
163	北中学校区	37	再配置の方向性	その他		<p>建築物の耐久年数の根拠は？（木造で30は短いのでは？）長寿命化でどの程度まで耐久年数を延ばせるのか。</p>	<p>総合管理計画を策定する上で全国共通の基準を用いて、一律の条件設定をさせていただいております。当然、建物ごとに多分違うということはあるかと思いますが、便宜上計画を策定する上で一律の条件設定をさせていただいております。</p>

164	北中学校区	38	再配置の方向性	個別施設	健康		たまり～なのプールの廃止の理由は？たまり～なのプール、お風呂はあそこにゴミ焼却場、つまり、迷惑施設を建てる見返りではないか。それを12年で廃止とは約束が違うではないか。	本日の北中学校区の施設ではありませんが、東中学校区のたまり～なの施設、温水プール、温浴施設の機能についてのご質問であります。たまり～なのプールにつきましては、設備の更新時期を迎え、不具合が出始めております。従いまして、この不具合が出始めているタイミングに合わせて、施設の利用者の方にとってより良い施設になるように、利用者の皆様と協議しながら検討を進めてまいりたいと考えております。
165	北中学校区	39	再配置の方向性	交通手段			統合した場合、交通手段はどのように考えているか。	統合等によって利用される施設が遠くなると、車のない子供達や高齢者の皆様が施設に行きづらくなる、足の確保が心配というようなことのご質問かと思えます。ご指摘のように施設までの距離が遠くなってしまふ場合は、例えば児童や生徒に関してはスクールバスでの対応が考えられます。 また、例えばですけれども、そのスクールバスの昼間の空いている時間帯の場合には、高齢者の方や一般の市民の方に利用していただくというような方法をこれから検討していきたいと考えております。
166	北中学校区	40	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと			高齢化の進展に医療・福祉予算が膨らむことは理解できるが、その部分を膨らませない先取りの施設提供などになる健康増進を図る施策は検討されているか。エコパのトレーニングルームは70歳以上無料、さんりーなどももっと利用しやすくできないか。	健康増進政策というのをご指摘のとおり、大変重要な視点であると思っております。先だって掛川市の人生100年時代構想を策定いたしましたして、健康づくり、これについてパンフレット等を作成いたしましたので、ぜひご覧いただければと思います。 具体的には掛川市としましては、まちづくりの三つの日本一の中に健康を掲げまして、お達者市民を作るための政策等を鋭意進めているところでありますので、それにつきましても地域の中で、それぞれまたそういう協議会の皆様やふくしあ等、あるいは健康医療推進課等にお問い合わせいただければと思っております。
167	北中学校区	41	説明会	説明内容		事例	学校と地域との共有ゾーン、フラット議論について、それだけ広範囲なスペースが必要かと思う面もあります。学校の生徒や教師と一般社会人との間でのイジメ・パワハラなど危険対応処置処理は万全でしょうか。	ご質問はそれほど広い面積は入れないというご指摘でしょうか。 先程の質問の回答と少し重複する部分がございますけれども、複合化を良い形とするためには、様々な課題に対して関係者の皆様とよく協議をして、対応を一つ一つ検討していくのが重要だと考えておりますので、そのように進めてまいりたいと思っております。今回の複合化というものは、学校の事例を紹介いたしましたけれども、多目的多機能というのがベースでございます。それぞれの利用者の皆様が納得いただけるような形で事業化していきたいと考えております。よろしく申し上げます。
168	北中学校区	42	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと		○	広域化による地域文化、コミュニティが保たれるのか。（伝統・文化の維持はどのように考えているのか。）	広域化によって地域文化やコミュニティが衰退しないように、ご相談させていただきたいと思っております。施設については、面積が減ったり、少し距離が離れたり色々なことが出てくるかもしれませんが、地域ごとに施設を集約し、これまでの施設では成し得なかった多目的な利用とか複合化を地域の皆様の賑わいという視点で整備していきたいと考えております。 また、地域文化やコミュニティについては、地域によって実情が異なると思っております。ですので、実際の再配置計画を事業化していく際には、個別案件ごとに地域や利用者の皆様、関係の皆様等と丁寧に協議・確認をしながら、具体的な検討を進めていきたいと考えております。